



請求管理ロボ

---

# 請求書テンプレートカスタマイズPRO 操作マニュアル

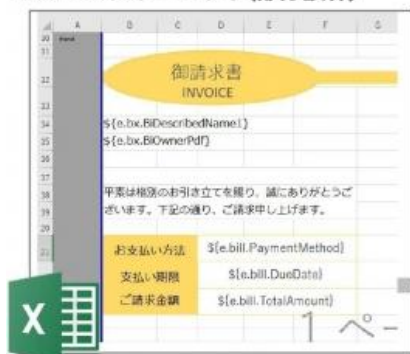
版数	リリース	更新日	更新者	更新内容
1		2020/06/16	山下	初版
2		2022/01/08	芳賀	税率ごとの消費税額パラメータの追記
3		2022/01/14	芳賀	税率ごとの対象金額合計の表記修正
4		2022/02/15	片江	「テンプレート作成における基本ルール」および「よくある利用例」の表示の構成箇所を修正
5		2023/01/13	高平	適格請求書等保存方式(インボイス制度)対応におけるパラメータの追記

# はじめに

請求書テンプレートカスタマイズPROとは、ご利用のユーザー様が自由に請求書のフォーマットをデザインできる機能です。

オリジナルの請求書フォーマットをEXCELで作成し、請求管理ロボにテンプレートとして登録することで、自由にカスタマイズした請求書を発行する事や、顧客や製品に合わせた請求書フォーマットの出しわけが可能となります。

EXCELのフォーマット(部分抜粋)



実際の請求書(部分抜粋)



EXCELで作成したオリジナルフォーマットを請求管理ロボにインポートするだけでそのまま請求書テンプレートとして利用できます！

必要な情報も指定の関数を組み込むことで請求書に反映されます！

## 目次

- »基本操作 .....4~8
- »テンプレート構成 .....9
- »テンプレート構成要素(Excel) .....10~14
- »テンプレート構成要素(JSONデータ) .....15~16
- »テンプレート構成要素(マクロ命令) .....17
- »テンプレート作成における基本ルール .....18~20
- »よくある利用例 .....21~22
- »トラブルシューティング .....23
- »ご利用に際しての注意点 .....24
- »Excel関数対応表 .....25~29
- »パラメーター一覧 .....30~31

# 基本操作

## 1. テンプレートの登録

テンプレートを作成するためにはまず、請求書テンプレートカスタマイズPROの画面から、テンプレート追加の操作を行います。

- まず右上の歯車(⚙)の設定から、「請求書テンプレートカスタマイズPRO」をクリックします。



- 遷移した画面の右上の「+テンプレート追加」をクリックしテンプレートの登録画面へ遷移します。



# 1.テンプレートの登録

- テンプレート名とカスタマイズしたテンプレート用エクセルファイルを選択し「登録」をクリック

請求書テンプレートカスタマイズPRO 請求書テンプレートカスタマイズPRO 登録

## 請求書テンプレートカスタマイズPRO登録

テンプレート名	<b>必須</b>	テンプレート1
エクセルファイル	<b>必須</b>	ファイルを選択 sample_template.xlsx ※エクセルファイルのサンプルは <a href="#">こちら</a> からダウンロードできます
請求明細グルーピング		<input checked="" type="checkbox"/> 請求明細を「集計用商品コード」にてグルーピングする ※請求情報内の「集計用商品コード」をグルーピングキーとして明細をグループ化することができます

登録

「こちら」をクリックすると、テンプレートのサンプルファイルをダウンロードできるヘルプサイトへ遷移します。

請求明細グルーピングにを入れていただくと、ロボの設定によって複数ある明細をひとまとまりのグループ化した形で請求書上に表記することが可能となります。

※キャプチャ参照

設定方法:グループ化したい明細(請求情報)ごとに、商品もしくは請求情報登録の項目である「集計用商品コード」に同一のコードで登録する

### ※キャプチャ

納品先・商品名	納品日	献立日	献立区分	数量	単位	単価	金額
集計用商品コード 1 様							
基本献立!	2020-11-03	2020/11/5	ムース※	1	食	800	¥800
基本献立!	2020-11-03	2020/11/5	ムース※	1	食	800	¥800
基本献立!	2020-11-06	2020/11/8	ムース※	1	食	800	¥800
基本献立!	2020-11-06	2020/11/11	ムース※	1	食	800	¥800
集計用商品コード 2 様							
基本献立!	2020-11-03	2020/11/5	夕食※	14	食	290	¥4,060
基本献立!	2020-11-06	2020/11/8	昼食※	10	食	290	¥2,900
基本献立!	2020-11-06	2020/11/11	昼食※	14	食	290	¥4,060

キャプチャは[集計用商品コード1種][集計用商品コード2種]それぞれに続く明細の「集計用商品コード」項目に、[集計用商品コード1種][集計用商品コード2種]それぞれが登録されています。

※登録後は必ずテンプレート一覧内のプレビューからレイアウト等をご確認ください

※エクセルの使い方は後述の「テンプレート作成の基本ルール」にてご説明いたします。

※アップロードファイルの注意点

→ファイル名は必ず半角英数字にしてください。

→ファイルの拡張子は「xlsx」にしてください。

## 2.テンプレート一覧

テンプレートの登録ができると新規テンプレートコードが発行され、サンプル情報をプレビューで確認できます。

請求書テンプレートカスタマイズPRO

削除 +テンプレート追加

テンプレート登録が完了しました。

一覧表示件数 < 1件中 1件 表示 > 表示件数 切替 20 50 100 200 1

※サンプルのJSONファイルはこちらから確認できます

■	テンプレートコード	テンプレート名	請求書プレビュー	エクセルダウンロード	請求明細グループ	登録日時
□	1000375	テンプレート1			有	2020/11/02 16:33:23

※1



テンプレートコード

テンプレートコードはテンプレートを追加すると自動発番されます。CSV登録やAPI登録時の請求書テンプレートの指定時に利用します。一覧画面でテンプレートコードをクリックすると、編集画面へ遷移できます。

※2



プレビュー

作成したエクセルデータがどのように反映しているかをサンプルデータで見ることができます。

※3



エクセルダウンロード

現在アップロードされているエクセルファイルがダウンロードできます。

### 3.テンプレート編集

テンプレート名の変更とエクセルの再アップロードができます。



#### 請求書テンプレートカスタマイズPRO

テンプレート名	<span style="color:red">必須</span>	テンプレート1
エクセルファイル	<span style="color:red">必須</span>	<span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">ファイルを選択</span> 選択されていません ※現在アップロードされているファイルは <a href="#">こちら</a> からダウンロードできます ※エクセルファイルのサンプルは <a href="#">こちら</a> からダウンロードできます
請求明細グルーピング		<input checked="" type="checkbox"/> 請求明細を「集計用商品コード」にてグルーピングする ※請求情報内の「集計用商品コード」をグルーピングキーとして明細をグループ化することができます



エクセルファイル欄から現在のアップロードファイルを確認できます。

### 4.テンプレート削除

テンプレートPRO一覧から削除したいテンプレートを選択し  
左上の「削除」のボタンをクリックしてください。



※削除対象のテンプレートが以下の条件にあてはまる場合には削除できません

- 請求先部署(承認中含む)のデフォルトテンプレートに設定されている
- 請求書発行前の請求情報(承認中含む)にテンプレートが設定されている

## 5.テンプレート作成・登録後

テンプレートの作成が完了しましたら、実際のデータで確認します。  
テンプレートの追加が完了すると、請求情報登録画面で、したテンプレートを選択できるようになります。

請求書送付日	必須	翌月	▼	1日	▼	
決済情報名	必須	銀行振込				
決済期限	必須	翌月	▼	末日	▼	
 説明						
請求方法	必須	<input type="radio"/> 自動メール <input type="radio"/> 手動メール <input checked="" type="radio"/> 送付なし				
請求書テンプレート	必須	テンプレート1				
請求元部署						

追加したテンプレートで請求情報を作成し実際に想定通りの請求書になっているか、請求情報一覧のプレビューにてご確認ください。

## 6.CSV登録時の設定

電話番号	メールアドレス	請求書テンプレート	決済手段	振込元口座名義
01-2345-6789	test@cloudpayment.co.jp	1000283	0	カ)テスト1
01-2345-6789	test@cloudpayment.co.jp	1000283	0	カ)テスト2
01-2345-6789	test@cloudpayment.co.jp	1000283	0	カ)テスト3
01-2345-6789	test@cloudpayment.co.jp	1000283	0	カ)テスト4
01-2345-6789	test@cloudpayment.co.jp	1000283	0	カ)テスト5

CSVでの登録の場合、キャプチャのように請求書テンプレートの項目に、「2. テンプレート一覧」で説明した「テンプレートコード」を記載して、登録ください。



# テンプレートの構成

テンプレートカスタマイズPROのテンプレートの元となるExcelファイルは大きく3つの要素で構成されています。

## ①Excel

テンプレートの基本デザインはExcelの仕様にのっって作成します。

(文字の大きさや色、配置、印刷範囲の設定、Excel数式等)

## ②パラメータ(JSONデータ)

テンプレートに受け渡せる、請求管理ロボの登録データを印刷範囲に配置することでテンプレートに反映されます。

## ③マクロ命令(Apache Velocity準拠)

行を増やす、特定の条件のみ指定の行を表示する等の動的な動作はマクロ命令により実現します。

### ③マクロ命令

1枚目と2枚目以降の明細行や条件によって表示するしないなど、テンプレートの動的な動作についての命令、実現をします。

### ①EXCEL

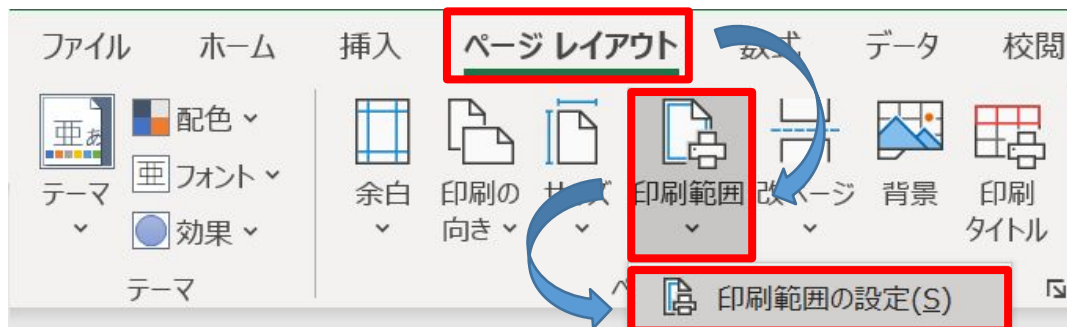
文字の大きさや色、などのデザインや、数式や印刷範囲指定などExcelの仕様にのっって構成します。

# テンプレートの構成要素 (Excel)

## ①印刷範囲設定

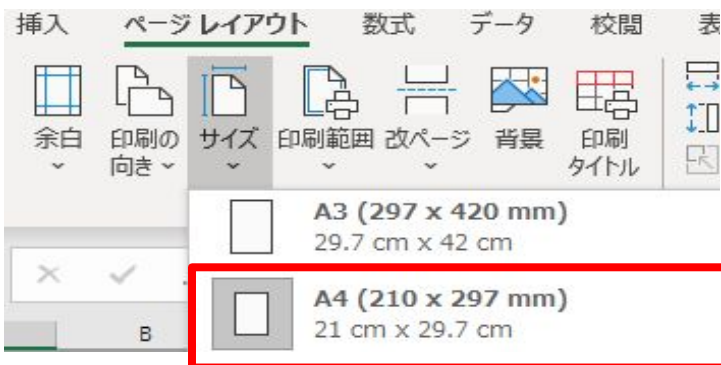
テンプレートとしてPDFにしたい範囲を指定します。

範囲の指定はExcelの印刷の設定同様、Excelのセルを範囲指定した後、メニューバーの「ページレイアウト」の「印刷範囲」で設定します。



## 補足

1. サイズはA4で設定してください。
2. 印刷範囲の中で、余白を設定し、バランスを取ります。ユーザー設定で、「水平」や「垂直」にチェックをつけることで印刷をページの中心に寄せることができます。



## ページ中央

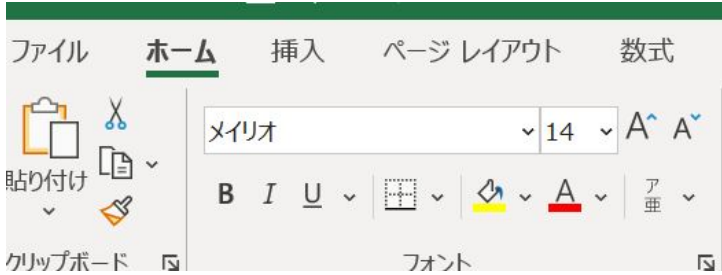
- 水平(Z)
- 垂直(V)

3. 印刷範囲を横向きにすると、横向きの印刷が可能です。
4. 改ページプレビューを利用することで印刷範囲が分かりやすくなり、テンプレートの編集がしやすくなります。



## ②レイアウト・デザイン

文字の大きさや色、文字の色、配置や、線の色等、通常のエクセルの編集と同じようにエクセルの編集ができます。



### 1. 文字に関する編集

文字のフォントや大きさ、色等に関しては、ホームの「フォント」で確認できます。

#### 【利用可能なフォント】

- IPAフォント
  - IPA
  - IPAex
  - IPAmj明朝
- [Noto](#)
- [源柔フォント](#)
- [M+](#)

※上記以外のフォントは全てIPAフォントに置換されます。

また、置換はされますがリリースなどでレイアウトが崩れる場合があるため、ご理解の上利用可能なフォントよりご利用ください。

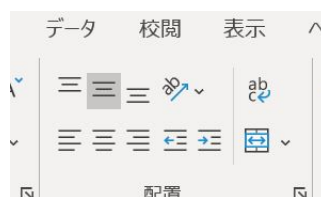
### 2. 図形や画像の挿入

印刷は範囲内に図形や画像を挿入して、反映させることも可能です。

- 派
- R
- 亥

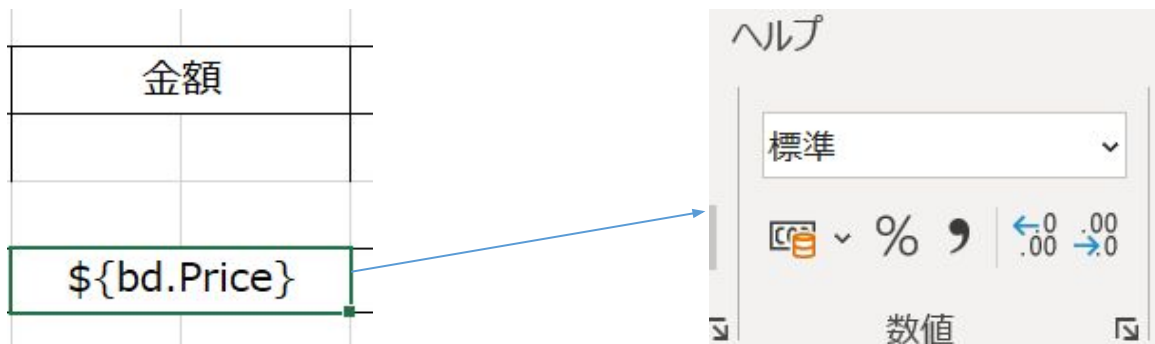
### 3. 文字の配置

中央揃えやセルの結合、文字の折り返し等配置に関する設定もできます。



#### 4. 表示形式

日付や金額など、直接入力している情報だけでなく、請求管理ロボの情報(パラメータを使って反映させる情報)に対しても表示形式を指定することができます。



#### 5. 数式

Excelの数式も同様に利用することができます。

直接入力している情報に対して数式を利用する場合は、通常通り「=関数名(セル)」のような形で行いますが、請求管理ロボの情報に対してExcelの数式を適用させたい場合は、

「%=関数名(“ロボ情報”)」という形で表記します。

例)

通常 : =SUM(A2+B2)

パラメータ : %=SUM(“\${e.bds[1].PriceInt}”+“\${e.bds[2].PriceInt}”)

※Json(請求管理ロボの情報を反映させるためのパラメータ)やvelocity(動的な動作を実行するためのマクロ命令)の計算はExcelの計算の後に行われるため、パラメータ内でも計算をしようとする場合は、Excel計算式は使用しないようにお願い致します。

## よく使う数式例

・LEFT/RIGHT/MID関数

例)請求書発行日の月までを出したい

セルの記述)

`%=LEFT (“${e.bill.IssueDate}”,8)`

例えば請求書発行日が「2020年12月01日」だとした場合、

左の8文字つまり「2020年12月」だけを表示させる内容になっています。

悪い例)%を使わずに請求書発行日を記載しているセルを指定

セルの記述) A3に`${e.bill.IssueDate}`が記載されていると仮定

`=LEFT(A3,8)`

これだと渡される発行日の値ではなく、「`${e.bill.IssueDate}`」の記述にLEFT関数が適用されてしまうため、「`${e.bill}`」となってしまいエラーとなります。

## ●IF関数

例)単価が0だった場合、表示させない、それ以外は表示させる

セルの記述)

`%=if (“${bd.UnitPriceInt}”=“0”, “”, “${bd. UnitPrice}”)`

数量	単位	単価
	<code>\${bd.DetailUnit}</code>	

数量も同様に設定

内容	数量	単位	単価	金額	税
2021年02月分					
テスト					外税
テスト	1		¥1,000	¥1,000	外税

単価が0の明細は0は数量単価が表示されていない

・value関数

例)カスタム項目などで登録した数字が、文字列判定されている  
数値にしたい場合

セルの記述例)カスタム項目と数量を掛けた値を表示させたい

`%=value("${bd.Custom_1})*"${bd.Quantity}"`

悪い例)

`%= "${bd.Custom_1})*"${bd.Quantity}"`

カスタム項目が数値判定されていなかった場合、エラーとなってしま  
う。

※エクセル関数対応表は19~23ページにございますので、  
必要に応じてご確認ください

# テンプレート構成要素 (JSONデータ)

テンプレートに受け渡せる、請求管理ロボの登録データを印刷範囲に配置することでテンプレートに反映されます。

請求管理ロボからExcelにデータを渡す際の形式は、JSON形式という形式が採用されています。

その渡した情報をExcelに反映する際に利用する記号・文字列を、パラメータと呼んでいます。

このパラメータには、3つの階層があり、下の階層まで指定してあげることで、細かい情報を指定して表示することができます。

この3階層をそれぞれ「Entity」「Category」「key」と呼んでいます。

「Entity」: 請求管理ロボから渡すすべての情報になります。

「Category」: 1番大きいくりで、明細の情報なのか、請求先の情報なのか大きい枠組みの指定になります。

「key」: 一番詳細な情報の指定になります。

## Excelでの表記方法

Excelの印刷範囲に表記する場合の書き方は以下になります。

`${Entity.Category.key}`

例)

請求書発行日のパラメータを表記したい場合

`${e.bill.Issuedate}`

Entityの省略

Key(請求書発行日を指定)

Category(請求書単位に関する値の指定)

発行日	<code>\${e.bill.IssueDate}</code>
-----	-----------------------------------

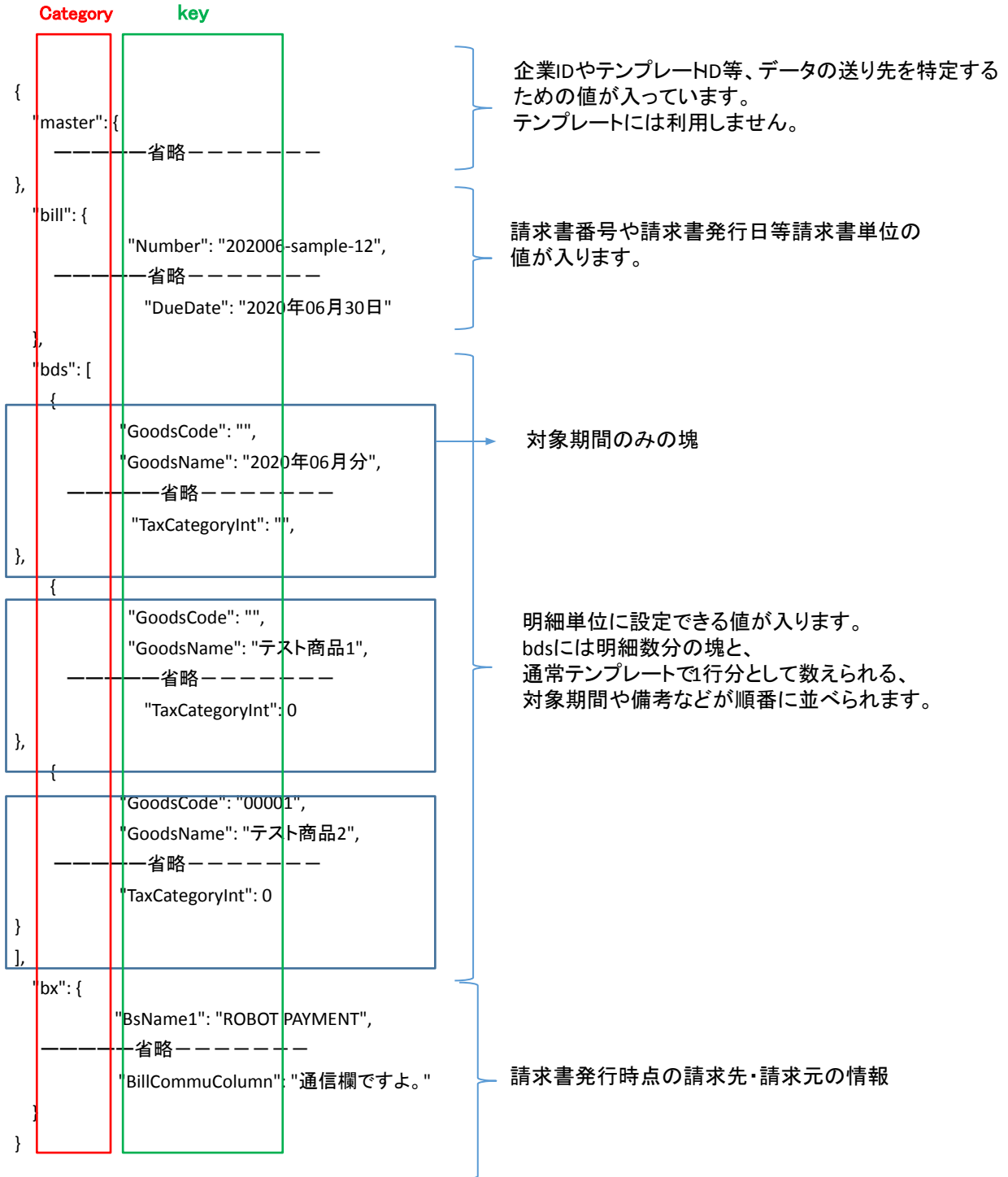
↓

発行日	2021年02月28日
-----	-------------

## 請求管理ロボから渡しているパラメータ例

下記例のような形で実際に請求管理ロボからエクセルのほうにデータが送られております。

※補足ですので理解がなくても作成は可能です。



※パラメータ一覧は24~25ページにございますので、必要に応じてご確認ください



# テンプレート構成要素(マクロ命令)

---

印刷外のセル(A列)にマクロ命令のコード文を記載することで、行を増やす、特定の条件のみ指定の行を表示する等の動的な動作を可能にすることができます。

例えば、明細の行など、単純にJsonデータをそのまま指定していくとした場合記載は「1つ目の明細、2つ目の明細、3つ目の明細」など、その明細の数の分Excelに記載していく必要があります。

さらに仮に明細数に関しては毎回いくつ登録するか不明な場合は、「明細数の登録分だけ明細を1から並べる」というように命令文を記載してあげることで、分かりやすく通常とは違った形での明細の並べ方で請求書に記載することが可能です。



## ①基本設定部

基本設定はテンプレートの全体の動きを設定する部分になります。

請求管理ロボでのPDF出力と印刷制御の調整をしている部分です。固定で設定いただく箇所になります。必ず挿入してください。

\$ENTITY(Jsonのすべての値)を\$eに省略するため記述になります。

```
#GRAPHIC_SCALE(0.85) #PDF_PROPERTY('font.encoding=fixup')  
#set($e = $ENTITY)  
#set($listOfGroups = [$e.bds.slice(0, 10)])  
#set($restPageEntryGroups = $e.bds.slice(10).chunk(15))  
#foreach($rest in $restPageEntryGroups)  
#let($listOfGroups.push($rest))  
#end  
#foreach($bds in $listOfGroups)
```

1枚目と2枚目以降の明細数を設定する箇所になります。「.slice」以降の「10」と記載されている箇所が1枚目の明細数、「chunk」以降の「15」と記載されている箇所が2枚目以降の明細数になります。変更する可能性がある箇所としては、この明細数を指定する箇所になります。

上で設定した明細数の動きをテンプレートで実現するための記述になります。

## ②表題部

請求先・請求元の情報や、請求書の日付等、請求書全体の情報を表示する場所です。(パラメータに関しては、パラメーター一覧を参照ください)

1枚目(ページ目)の請求書にだけ表記させるという命令(=対象範囲は#if(\$foreach.first)の下の方～#set(\$add\_MAX=10)の上の方まで)

「現在のページ数/総ページ数」を表します。1つ目は、#if(\$foreach.first)内にあるので最初のページ、2つ目は、#else内にあるので、2ページ以降という意味になります

```
#foreach ($rest in $restPageEntryGroups)  
#let($listOfGroups.push($rest))  
#end  
#foreach($bds in $listOfGroups)  
#if($foreach.first)  
#set($add_MAX = 10)  
#else  
#set($add_MAX = 15)  
#end
```

明細の行数を指定する箇所になります。サンプルでは、最初のページは10行、それ以降は15行ということの意味です。

### ③明細部

文字通り明細が入る部分になります。

明細行の行数を設定している前ページ参照

```
#if($dd.max=10)
#end
#end
#end
#end
```

明細行1行の構成になります。商品名にあたるGoodNameのパラメータは対象期間や備考の行のデータも含まれます。

内容	数量	単位	単価	金額	税
<code>#{e.bds.\$id}</code>	<code>#{e.bds.Quantity}</code>	<code>#{e.bds.DetailUnit}</code>	<code>#{e.bds.UnitPrice}</code>	<code>#{e.bds.Price}</code>	<code>#{e.bds.Tax}</code>

上で指定した、明細行の行数に明細数が達しなかった場合に明細行数上限と明細数の差分を、空白行で埋めるための命令文になります。

Point. `#{e.bds.00}`と`#{bd.00}`の違いについて

上記両方とも明細を表すものになりますが、「e.bds.」は明細全体を表します。

そのため明細の1行目の値を表示する場合は`#{e.bds[0].00}`とし、

0から指定する必要があります(パラメータとしては、1行目は0番目として考えます。)

それに対して`#{bd.00}`は1行目から順番に並べることを表しています。

`#{bd.goodsname}`と表記した場合は商品名のデータの数だけまで行が追加され並べられます。

※ `#{bd.00}`は`#foreach($bd in $bds)~#end`の間でしか表記ができないので注意

### ④通信欄・フッター

明細行の下部の表示になります。

明細部の下に表示させる集計表示の部分になります。

サンプルでは`#if($foreach.last)`と命令文を入れることで、最後のページにのみ出すようにしています。(対象範囲は`#if($foreach.last)`の下の行~`#end`の上の行まで)

<code>#if(\$foreach.last)</code>	<code>#{e.bx.BsBankInfor}</code>	小計 <code>#{e.bill.SubtotalAmount}</code>
		消費税 <code>#{e.bill.ConsumptionTaxAmount}</code>
		合計 <code>#{e.bill.TotalAmount}</code>
		8%対象: <code>#{e.bill.Tax_1}</code>
		10%対象: <code>#{e.bill.Tax_2}</code>
<code>#end</code>		
<code>#if(\$foreach.first)</code>	通信欄 <code>#{e.bx.BillCommuColumn}</code>	
<code>#end</code>		

ページ最下部に表示させる請求全体に対するお知らせ事項を記載する通信欄を表示させています。サンプルでは`#if($foreach.first)`と命令文を入れることで、1ページ目に表記されます。(対象範囲は`#if($foreach.first)`の下の行~`#end`の上の行まで)

### 補足

- 2ページ目以降が表示されないため、テンプレートの印刷範囲の前に記述する`#foreach($bds in $listOfGroups)`の後と最後の`#end`の前は最低1行開けて、命令文を記述してください。
- `#if`、`#foreach`、`#end`と同じ行に文字列や、パラメータ等をセットするとエラーとなります。
- 印刷範囲でも`#if`、`#foreach`、`#end`の行は行としてカウントされません。(実際の請求書上では、その行分は上に詰まる形になります)空白行は別で必要となります。



### 3. カスタム項目利用例

カスタム項目は、自由に項目として設定でき利用できる項目です。

テンプレートカスタマイズPROでもカスタム項目を反映させることができます。

#### 【請求情報カスタム項目】

※現在ご利用可能なカスタム項目は請求情報のみとなっております。

請求情報のカスタム項目は1つの請求情報ごとに、30個まで登録できます。

請求管理ロボ上では好きな項目名で設定できますが、

カスタム項目のパラメータでは下記のように登録順に0から番号で指定します。

例)

#### 【ロボのカスタム項目名】【パラメータ (テンプレート表記)】

伝票日付 →  $\${e.bds.Custom\_0}$ 、 $\${bd.Custom\_0}$

伝票番号 →  $\${e.bds.Custom\_1}$ 、 $\${bd.Custom\_1}$

注文者名 →  $\${e.bds.Custom\_2}$ 、 $\${bd.Custom\_2}$

#### ・テンプレート

注文日付	注文番号	注文者名	数量
$\${bd.Custom\_0}$	$\${bd.Custom\_1}$	$\${bd.Custom\_2}$	

#### ・請求情報登録画面

注文日付	<input type="text" value="2021/02/02"/>
注文番号	<input type="text" value="1234567"/>
注文者名	<input type="text" value="ロボ太郎"/>

#### ・テンプレート出力



注文日付	注文番号	注文者名	数量
2021/02/02	1234567	ロボ太郎	1

# トラブルシューティング

①明細の行と、表示の行が合わない。

テンプレートを作成している際、設定しているはずの明細行数)数と、**表示される行数が合わない**といったことがあるかもしれません。

それは、明細行の表示において、  
商品の行しか出さないといった設定をしていた場合に起こります。  
※よくある利用例の1を参照

P17に明細数の設定は下記のような記述で設定すると説明しています。

```
#set($listOfGroups = [$e.bds.slice(0, 1枚目の最大明細行数])  
#set($restPageEntryGroups = $e.bds.slice(1枚目の最大明細数.chunk(2枚目以降の明細数))
```

上記の明細行数は、「\$e.bds」つまりすべての明細行において、計算されています。  
つまり、ここで指定している、最大明細行数は対象期間や、備考の行も含めてのものになっています。  
そのため仮に商品の行しか出さない明細行で設定した場合でも、  
本来出てくるはずの対象期間や備考が計算には含まれ、結果実際に1枚目に最大で表示される明細行数は、  
上で設定した、行数から対象期間や備考の行数を引いた数になります。

これを解決するためには、  
「\$e.bds」から対象期間や備考の排除したもので、明細行を設定しなければなりません。  
下記がその例になります。

```
#set($listOfGroups = [$e.bds.slice(0, 1枚目の最大明細行数])  
#set($restPageEntryGroups = $e.bds.slice(1枚目の最大明細数.chunk(2枚目以降の明細数))
```

```
    #set($new_bds = [])  
    #foreach($bb in $e.bds)  
        #if($bb.Type == 'goods')  
            #let($new_bdsr.add($bb))  
        #end  
    #end  
#set($listOfGroups = [$new_bds.slice(0,1枚目の最大明細行数])  
#set($restPageEntryGroups = $new_bds.slice(1枚目の最大明細数.chunk(2枚目以降の明細数))
```

上記では\$e.bdsから商品だけ値を取った\$new\_bdsと定義しそれに対して1枚目と2枚目の最大明細数を設定しています

# ご利用に際しての注意点

---

## ■エクセルについて

- ・エクセルアップロード後は必ずプレビューにて内容をご確認ください
- ・サンプルエクセルの最上部左の1行目にある表記は「必ず挿入」してください  
「#GRAPHIC\_SCALE(0.85) #PDF\_PROPERTY('font.encoding=fixup')」
  
- ・エクセルファイルの拡張子は「xlsx」のみ対応です。
- ・利用可能なフォントには制限がございます(利用可能フォントはP9参照)
- ・Microsoft Excel以外で編集したExcelファイルは利用しないでください
- ・パフォーマンスに影響を与えるようなコマンド記述はお控えください
- ・ロゴなどで貼付する画像のカラーモードはRGBとなっております。  
CMYKは色が変わってしまう可能性があります。

## ■使用可能文字集合の注意点

テンプレートカスタマイズ PROで利用できる文字集合は下記の 2つとなります。

- ・JIS X 0212
- ・JIS X 0213

## ■郵送に関する注意点

(テンプレートPROのテンプレートから自動「手動」郵送するケース)

以下のPDFは請求書の「郵送」にはご利用できませんのでご注意ください

- ・1つのPDFに「縦と横の混ざったページ」があるもの
- ・注釈があるもの
- ・PDFのファイルサイズが「30Mを超える」場合
- ・透過画像は郵送時に表示されないケースがあるので利用はお控えください



# Excel関数対応表

記号	意味
○	対応
△	対応(不完全)
×	未対応(無視される)
ERR	未対応(エラー発生)
-	使用不可
未	未検証
未	未検証

分類	関数	xlsx
互換性関数	BETADIST	○
	BETAINV	○
	BINOMDIST	○
	CHIDIST	○
	CHIINV	○
	CHITEST	○
	CONCATENATE	○
	CONFIDENCE	○
	COVAR	○
	CRITBINOM	○
	EXPONDIS	○
	FDIST	○
	FINV	○
	FLOOR	○
	FORECAST	○
	FTEST	○
	GAMMADIST	○
	GAMMAINV	○
	HYPGEOMDIST	○
	LOGINV	○
	LOGNORMDIST	○
	MODE	○
	NEGBINOMDIST	○
	NORMDIST	○
	NORMINV	○
	NORMSDIST	○
	NORMSINV	○
	PERCENTILE	○
	PERCENTRANK	○
	POISSON	○
	QUARTILE	○
	RANK	○
	STDEV	○
	STDEVP	○
	TDIST	○
	TINV	○
	TTEST	○
	VAR	○
	VARP	○
	WEIBULL	○
	ZTEST	○

分類	関数	xlsx	
データベース関数	DAVERAGE	○	
	DCOUNT	○	
	DCOUNTA	○	
	DGET	○	
	DMAX	○	
	DMIN	○	
	DPRODUCT	○	
	DSTDEV	○	
	DSTDEVP	○	
	DSUM	○	
	DVAR	○	
	DVARP	○	
	日付と時刻の関数	DATE	○
		DATEDIF	○
		DATEVALUE	×
DAY		○	
DAYS		×	
DAYS360		○	
EDATE		○	
EOMONTH		○	
HOUR		○	
ISOWEEKNUM		×	
MINUTE		○	
MONTH		○	
NETWORKDAYS		○	
NETWORKDAYS.INTL		○	
NOW		○	
SECOND		○	
TIME		○	
TIMEVALUE	○		
TODAY	○		
WEEKDAY	○		
WEEKNUM	○		
WORKDAY	○		
WORKDAY.INTL	○		
YEAR	○		
YEARFRAC	○		

分類	関数	xlsx
エンジニアリング関数	BESSELI	○
	BESSELJ	○
	BESSELK	○
	BESSELY	○
	BIN2DEC	○
	BIN2HEX	○
	BIN2OCT	○
	BITAND	×
	BITLSHIFT	×
	BITOR	×
	BITRSHIFT	×
	BITXOR	×
	COMPLEX	○
	CONVERT	○
	DEC2BIN	○
	DEC2HEX	○
	DEC2OCT	○
	DELTA	○
	ERF	○
	ERF.PRECISE	×
	ERFC	○
	ERFC.PRECISE	×
	GESTEP	○
	HEX2BIN	○
	HEX2DEC	○
	HEX2OCT	○
	IMABS	○
	IMAGINARY	○
	IMARGUMENT	○
	IMCONJUGATE	○
	IMCOS	○
	IMCOSH	×
	IMCOT	×
	IMCSC	×
	IMCSCH	×
	IMDIV	○
	IMEXP	○
	IMLN	○
	IMLOG10	○
	IMLOG2	○
	IMPOWER	○
	IMPRODUCT	○
	IMREAL	○
	IMSEC	×
	IMSECH	×
	IMSIN	○
	IMSINH	×
	IMSQRT	○
	IMSUB	○
	IMSUM	○
	IMTAN	×
	OCT2BIN	○
	OCT2DEC	○
	OCT2HEX	○

分類	関数	xlsx
財務関数	ACCRINT	○
	ACCRINTM	○
	AMORDEGRC	○
	AMORLINC	○
	COUPDAYBS	○
	COUPDAYS	○
	COUPDAYSNC	○
	COUPNCD	○
	COUPNUM	○
	COUPPCD	○
	CUMIPMT	○
	CUMPRINC	○
	DB	○
	DDB	○
	DISC	○
	DOLLARDE	○
	DOLLARFR	○
	DURATION	○
	EFFECT	○
	FV	○
	FVSCHEDULE	○
	INTRATE	○
	IPMT	○
	IRR	○
	ISPMT	○
	MDURATION	○
	MIRR	○
	NOMINAL	○
	NPER	○
	NPV	○
	ODDFPRICE	○
	ODDFYIELD	○
	ODDLPRICE	○
	ODDLYIELD	○
	PDURATION	×
	PMT	○
	PPMT	○
	PRICE	○
	PRICEDISC	○
	PRICEMAT	○
	PV	○
	RATE	○
	RECEIVED	○
	RRI	×
	SLN	○
	SYD	○
	TBILLEQ	○
	TBILLPRICE	○
	TBILLYIELD	○
	VDB	○
	XIRR	○
	XNPV	○
	YIELD	○
	YIELDDISC	○
	YIELDMAT	○

分類	関数	xlsx
情報関数	CELL	○
	ERR.TYPE	○
	INFO	○
	ISBLANK	○
	ISERR	○
	ISEVEN	○
	ISFORMULA	×
	ISLOGICAL	○
	ISNA	○
	ISNONTEXT	○
	ISNUMBER	○
	ISODD	○
	ISREF	○
	ISTEXT	○
	N	○
	NA	○
	SHEET	×
SHEETS	×	
TYPE	○	
キューブ関数	CUBEKPIMEMBER	-
	CUBEMEMBER	-
	CUBEMEMBERPROPERTY	-
	CUBERANKEDMEMBER	-
	CUBESET	-
	CUBESETCOUNT	-
CUBEVALUE	-	
検索/行列関数	ADDRESS	○
	AREAS	○
	CHOOSE	○
	COLUMN	○
	COLUMNS	○
	FORMULATEXT	×
	GETPIVOTDATA	○
	HLOOKUP	○
	HYPERLINK	○
	INDEX	○
	INDIRECT	○
	LOOKUP	○
	MATCH	○
	OFFSET	○
	ROW	○
	ROWS	○

分類	関数	xlsx
論理関数	RTD	○
	TRANSPOSE	○
	VLOOKUP	○
	AND	○
	FALSE	○
	IF	○
	IFERR / IFERROR	○
	IFNA	×
	NOT	○
	OR	○
文字列関数	TRUE	○
	XOR	×
	ASC	○
	BAHTTEXT	○
	CHAR	○
	CLEAN	○
	CODE	○
	CONCATENATE	○
	DBCS (JIS関数)	×
	DOLLAR	×
	YEN	×
	EXACT	○
	FIND	○
	FINDB	○
	FIXED	○
	LEFT	○
	LEFTB	○
	LEN	○
	LENB	○
	LOWER	○
	MID	○
	MIDB	○
NUMBERVALUE	×	
PHONETIC	○	
PROPER	○	
REPLACE	○	
REPLACEB	○	
REPT	○	
RIGHT	○	
RIGHTB	○	
SEARCH	○	
SEARCHB	○	
SUBSTITUTE	○	
TRIM	○	
UNICHAR	○	
UNICODE	○	
UPPER	○	
VALUE	○	

分類	関数	xlsx
統計関数	AVEDEV	○
	AVERAGE	○
	AVERAGEA	○
	AVERAGEIF	○
	AVERAGEIFS	○
	BETA.DIST	×
	BETA.INV	×
	BINOM.DIST	×
	BINOM.DIST.RANGE	×
	BINOM.INV	×
	CHISQ.DIST	×
	CHISQ.DIST.RT	×
	CHISQ.INV	×
	CHISQ.INV.RT	×
	CHISQ.TEST	×
	CONFIDENCE.NORM	×
	CONFIDENCE.T	×
	CORREL	○
	COUNT	○
	COUNTA	○
	COUNTBLANK	○
	COUNTIF	○
	COUNTIFS	○
	COVARIANCE.P	×
	COVARIANCE.S	×
	DEVSQ	○
	EXPON.DIST	×
	F.DIST	×
	F.DIST.RT	×
	F.INV	ERR
	F.INV.RT	ERR
	F.TEST	×
	FISHER	○
	FISHERINV	○
	FORECAST	○
	FORECAST.ETS	×
	FORECAST.ETS.CONFINT	×
	FORECAST.ETS.SEASONALITY	×
	FORECAST.ETS.STAT	×
	FORECAST.LINEAR	×
	FREQUENCY	○
GAMMA	×	
GAMMA.DIST	×	
GAMMA.INV	×	
GAMMALN	○	
GAMMALN.PRECISE	×	
GAUSS	×	
GEOMEAN	○	
GROWTH	○	
HARMEAN	○	
HYPGEOM.DIST	×	
INTERCEPT	○	
KURT	○	
LARGE	○	
LINEST	○	
LOGEST	○	

分類	関数	xlsx
	LOGNORM.DIST	×
	LOGNORM.INV	×
	MAX	○
	MAXA	○
	MEDIAN	○
	MIN	○
	MINA	○
	MODE.MULT	×
	MODE.SNGL	×
	NEGBINOM.DIST	×
	NORM.DIST	×
	NORM.INV	×
	NORM.S.DIST	×
	NORM.S.INV	×
	PEARSON	○
	PERCENTILE.EXC	×
	PERCENTILE.INC	×
	PERCENTRANK.EXC	×
	PERCENTRANK.INC	×
	PERMUT	○
	PERMUTATIONA	×
	PHI	×
	POISSON.DIST	×
	PROB	○
	QUARTILE.EXC	×
	QUARTILE.INC	×
	RANK.AVG	×
	RANK.EQ	×
	RSQ	○
	SKEW	○
	SKEW.P	×
	SLOPE	○
	SMALL	○
	STANDARDIZE	○
	STDEV.P	×
	STDEV.S	×
	STDEVA	○
	STDEVPA	○
	STEYX	○
	T.DIST	×
	T.DIST.2T	×
	T.DIST.RT	×
	T.INV	ERR
	T.INV.2T	ERR
	T.TEST	×
	TREND	○
	TRIMMEAN	○
	VAR.P	ERR
	VAR.S	ERR
	VARA	○
	VARPA	○
	WEIBULL.DIST	×
	Z.TEST	×

分類	関数	xlsx
数学/三角関数	ABS	○
	ACOS	○
	ACOSH	○
	ACOT	×
	ACOTH	×
	AGGREGATE	×
	ARABIC	×
	ASIN	○
	ASINH	○
	ATAN	○
	ATAN2	○
	ATANH	○
	BASE	×
	CEILING	○
	CEILING.MATH	×
	CEILING.PRECISE	×
	COMBIN	○
	COMBINA	×
	COS	○
	COSH	○
	COT	×
	COTH	×
	CSC	×
	CSCH	×
	DECIMAL	×
	DEGREES	○
	EVEN	○
	EXP	○
	FACT	○
	FACTDOUBLE	○
	FLOOR	○
	FLOOR.MATH	×
	FLOOR.PRECISE	×
	GCD	○
	INT	○
	ISO.CEILING	○
	LCM	○
	LN	○
	LOG	○
	LOG10	○
	MDTERM	○
	MINVERSE	○
	MMULT	○
	MOD	○
	MROUND	○
	MULTINOMIAL	○
	MUNIT	×
	ODD	○
	PI	○
	POWER	○
	PRODUCT	○
	QUOTIENT	○
	RADIANS	○
	RAND	○
	RANDBETWEEN	○
	ROMAN	○
	ROUND	○

分類	関数	xlsx
	ROUNDDOWN	○
	ROUNDUP	○
	SEC	×
	SECH	×
	SERIESSUM	○
	SIGN	○
	SIN	○
	SINH	○
	SQRT	○
	SQRTPI	○
	SUBTOTAL	○
	SUM	○
	SUMIF	○
	SUMIFS	○
	SUMPRODUCT	○
	SUMSQ	○
	SUMX2MY2	○
	SUMX2PY2	○
	SUMXMY2	○
	TAN	○
	TANH	○
	TRUNC	○
その他	IFS	未
	SWITCH	未
	MAXIFS	未
	MINIFS	未
	CONCAT	未
	TEXTJOIN	未
アドインと一緒にインストールされるユーザー定義関数	CALL	-
	EUROCONVERT	-
	REGISTER.ID	-
	SQL.REQUEST	-
Web関数	ENCODEURL	-
	FILTERXML	-
	WEBSERVICE	-

category	key	対象	型	書き方(#{e.category.key})
bill	Number	請求書番号	文字列	#{e.bill.Number}
	IssueDate	請求書発行日	文字列	#{e.bill.IssueDate}
	IssueDateInt	請求書発行日	文字列	#{e.bill.IssueDateInt}
	SendDate	請求書送付予定日	文字列	#{e.bill.SendDate}
	SendDateInt	請求書送付予定日	文字列	#{e.bill.SendDateInt}
	PeriodStartDate	請求書対象期間開始日(最初)	文字列	#{e.bill.PeriodStartDate}
	PeriodEndDate	請求書対象期間終了日(最後)	文字列	#{e.bill.PeriodEndDate}
	PaymentMethod	決済手段	文字列	#{e.bill.PaymentMethod}
	DueDate	支払期限	文字列	#{e.bill.DueDate}
	DueDateInt	支払期限	文字列	#{e.bill.DueDateInt}
	TotalAmount	請求金額	文字列	#{e.bill.TotalAmount}
	TotalAmountInt	請求金額	数値	#{e.bill.TotalAmountInt}
	SubtotalAmount	小計	文字列	#{e.bill.SubtotalAmount}
	SubtotalAmountInt	小計	数値	#{e.bill.SubtotalAmountInt}
	ConsumptionTaxAmount	消費税	文字列	#{e.bill.ConsumptionTaxAmount}
	ConsumptionTaxAmountInt	消費税	数値	#{e.bill.ConsumptionTaxAmountInt}
	ConsumptionTax	消費税(%対象出力)	文字列	#{e.bill.ConsumptionTax}
	BillGroupKey	請求書合算キー	文字列	#{e.bill.BillGroupKey}
	Memo	メモ	文字列	#{e.bill.Memo}
	Tax_1	8%対象金額	文字列	#{e.bill.Tax_1}
	Tax_1_Int	8%対象金額	数値	#{e.bill.Tax_1_Int}
	Tax_2	10%対象金額	文字列	#{e.bill.Tax_2}
	Tax_2_Int	10%対象金額	数値	#{e.bill.Tax_2_Int}
	Free2	自由入力欄2	文字列	#{e.bill.Free2}
	Tax_1_OutInt	8% 外税 消費税額	数値	#{e.bill.Tax_1_OutInt}
	Tax_1_OutExcludedInt	8% 外税 税抜金額	数値	#{e.bill.Tax_1_OutExcludedInt}
	Tax_1_OutIncludedInt	8% 外税 税込金額	数値	#{e.bill.Tax_1_OutIncludedInt}
	Tax_1_InsideInt	8% 内税 消費税額	数値	#{e.bill.Tax_1_InsideInt}
	Tax_1_InsideExcludedInt	8% 内税 税抜金額	数値	#{e.bill.Tax_1_InsideExcludedInt}
	Tax_1_InsideIncludedInt	8% 内税 税込金額	数値	#{e.bill.Tax_1_InsideIncludedInt}
	Tax_2_OutInt	10% 外税 消費税額	数値	#{e.bill.Tax_2_OutInt}
	Tax_2_OutExcludedInt	10% 外税 税抜金額	数値	#{e.bill.Tax_2_OutExcludedInt}
	Tax_2_OutIncludedInt	10% 外税 税込金額	数値	#{e.bill.Tax_2_OutIncludedInt}
Tax_2_InsideInt	10% 内税 消費税額	数値	#{e.bill.Tax_2_InsideInt}	
Tax_2_InsideExcludedInt	10% 内税 税抜税額	数値	#{e.bill.Tax_2_InsideExcludedInt}	
Tax_2_InsideIncludedInt	10% 内税 税込金額	数値	#{e.bill.Tax_2_InsideIncludedInt}	

category	key	対象	型	書き方(\${e.category.key})	
bds	GoodsCode	集計用商品コード		`\${e.bds.GoodsCode}`	
	DemandCode	請求情報番号		`\${e.bds.DemandCode}`	
	JournalGoodsCode	会計ソフト連携用商品コード		`\${e.bds.JournalGoodsCode}`	
	GoodsName	明細(内容)	文字列	`\${e.bds.GoodsName}`	
	Quantity	明細(数量)	文字列	`\${e.bds.Quantity}`	
	QuantityInt	明細(数量)	数値	`\${e.bds.QuantityInt}`	
	DetailUnit	明細(単位)	文字列	`\${e.bds.DetailUnit}`	
	UnitPrice	明細(単価)	文字列	`\${e.bds.UnitPrice}`	
	UnitPriceInt	明細(単価)	数値	`\${e.bds.UnitPriceInt}`	
	Price	明細(金額)	文字列	`\${e.bds.Price}`	
	PriceInt	明細(金額)	数値	`\${e.bds.PriceInt}`	
	TaxExclusiveAmount	明細(税抜金額)	文字列	`\${bd.TaxExclusiveAmount}`	
	TaxExclusiveAmountInt	明細(税抜金額 数値)	数値	`\${bd.TaxExclusiveAmountInt}`	
	TaxCategoryText	税の表示	文字列	`\${e.bds.TaxCategoryText}`	
	TaxCategoryInt	税の表示	数値	`\${e.bds.TaxCategoryInt}`	
	PeriodDate	請求期間		`\${e.bds.PeriodDate}`	
	PeriodFormat	対象期間形式		`\${e.bds.PeriodFormat}`	
	StartDate	対象期間_開始		`\${e.bds.StartDate}`	
	EndDate	対象期間_終了		`\${e.bds.EndDate}`	
	Line	初期位置		`\${e.bds.Line}`	
	Type	種別		`\${e.bds.Type}`	
	Group	期間グループ		`\${e.bds.Group}`	
				文字列 `\${e.bds[明細行数(0から)].Custom_カスタム項目(0から) or 例)1明細行目の1つ目のカスタム項目`	
		Custom_0	カスタム項目	数値	`\${e.bds[0].Custom_0}`
	bx	BsName1	請求元名1	文字列	`\${e.bx.BsName1}`
		BsName2	請求元名2	文字列	`\${e.bx.BsName2}`
BsZipCode		郵便番号	文字列	`\${e.bx.BsZipCode}`	
BsAnnounce		自由入力欄	文字列	`\${e.bx.BsAnnounce}`	
BsBankInfor		振込先口座情報	文字列	`\${e.bx.BsBankInfor}`	
BsResidenceState		都道府県	文字列	`\${e.bx.BsResidenceState}`	
BsResidenceAddress		市区町村番地	文字列	`\${e.bx.BsResidenceAddress}`	
BsResidenceBuilding		建物名	文字列	`\${e.bx.BsResidenceBuilding}`	
BsResidencePhone		電話番号	文字列	`\${e.bx.BsResidencePhone}`	
BsResidenceFax		FAX番号	文字列	`\${e.bx.BsResidenceFax}`	
BsDepartment		請求元部署_部署名	文字列	`\${e.bx.BsDepartment}`	
BsOwnerName		請求元担当者_担当者名	文字列	`\${e.bx.BsOwnerName}`	
BsDepartmentCode		請求元部署_部署コード	文字列	`\${e.bx.BsDepartmentCode}`	
BsOwnerCode		請求元担当者_担当者コード	文字列	`\${e.bx.BsOwnerCode}`	
BsOwnerPostName		請求元担当者_役職名	文字列	`\${e.bx.BsOwnerPostName}`	
BiZipCode		郵便番号	文字列	`\${e.bx.BiZipCode}`	
BiState		都道府県	文字列	`\${e.bx.BiState}`	
BiAddress		市区町村番地	文字列	`\${e.bx.BiAddress}`	
BiBuilding		建物名	文字列	`\${e.bx.BiBuilding}`	
BiDescribedName1		宛名1	文字列	`\${e.bx.BiDescribedName1}`	
BiDescribedName2		宛名2	文字列	`\${e.bx.BiDescribedName2}`	
BiOwnerPdf		宛名3	文字列	`\${e.bx.BiOwnerPdf}`	
BiName		請求先名	文字列	`\${e.bx.BiName}`	
BiIndividualNmae		請求先部署名	文字列	`\${e.bx.BiIndividualNmae}`	
BiOwner		請求先部署_担当者名	文字列	`\${e.bx.BiOwner}`	
BiMemo		請求先部署メモ	文字列	`\${e.bx.BiMemo}`	
BillCommuColumn		通信欄	文字列	`\${e.bx.BillCommuColumn}`	
			適格請求書発行事業者登録番号		
		BillInvoiceSupplierCode	号	文字列	`\${e.bx.BillInvoiceSupplierCode}`